



禁じても、禁じても……この世ならぬ喜びの極点を目指すフランス・エロティシズムの決定版！



Contes  
immoraux

# 七エロ物語

Herald

〈カラー作品〉  
日本ヘラルド映画

成人映画

■監督ウォーレリアン・ポロズイック

■第1話/満潮 ■第2話/性書テレーズ ■第3話/女伯爵ハトリー ■第4話/ルクレチア・ボルジア

**\*性について改めて多くを教えられる**

〈映画評論家〉 金坂健二

セックスに関する情報量が多ければそれだけエロスの度合いが高まるというものではない。事実はその逆だ。極端に情報の多い日本で、いま「インモラル物語」を見ると、改めて性に関してまだわれわれの知らなかったことがいかに多かったかを知らされるのである。フレッシュな切れ味、ピリッと利くわさび。ポルノというのは本来、こういうものはなかったか。

**\*解説**

ポーランドの新鋭監督ワレリアン・ボロウズィックによるニュー・ポルノグラフィ。4つの時代によるさまざまな性のエピソードが小気味いいタッチのストーリー展開とダイナミックな映像で描かれる。

アメリカのハード・コアともちがいで、「エマニエル夫人」のソフト・タッチともちがう。感覚的でありながら、なおかつポルノグラフィにもっとも大切な要素、娯楽性を少しも失っていないところが特色である。一言でいえば、「若もののための楽しめるポルノグラフィ」とでもいえようか。

4話を簡単に紹介すれば、オーラル・セックス、少女のオナニー、倒錯したセックスに溺れる貴婦人、近親相姦の地獄絵図——といったすごい字句の列挙になってしまうが、映画自体はそうしたさまざまな人間、および彼らの行為をごく自然なものとして捉えているために、きわめてあっけらかんとしたものになっている。刺激的なエピソードばかりが選ばれたのは、「正常」な性行為にかくれた膨大な人間の性のエネルギーをえぐりだすためだった。そこには歴史の表に決して出ることのないドロドロした人間の欲望や、不可思議な人間の存在や想像もできない人間関係が見られるはずである。「インモラル物語」のねらいは実はそうしたところにあったのだと思われる。第1話をのぞく3話がいずれも中世に素材がとら

れているのは、中世こそが、性そのものが暗黒の闇に閉じこめられてしまっていた時代だからである。余談だが第3話「女伯爵バトリ」のエピソードは池田理代子作の「ヘルサイユのバラ」の番外編第10巻目に劇画化されている。

主演はピカソの娘、パロマ・ピカソをはじめとするフランスの俳優。監督のワレリアン・ボロウズィックはポーランドの映画大学を卒業してドキュメンタを撮っていた俊英。

(カラー/パナビジョン/1時間45分)

**\*物語**

〈第1話・満潮〉現代。アンドレはパリからやってきた大学生、休暇を利用してノルマンディの叔母さんの家ですごしている。ここには16才になるイトコのジュリーがいた。黒髪の長い美しい娘だ。二人は初秋に近い夏のおわりを海ですごすことにした。

アンドレは実は満潮時に時を合わせてジュリーと性的にエクスタシーに達することを夢みていた。いま白い飛沫のとびかう海辺でジュリーのオーラルセックスで快楽の絶頂へ。

〈第2話・性書テレーズ〉1890年。テレーズは裕福な農家の一人娘。肉体は十分に発達している。性的好奇心も旺盛。たまたま日曜日のミサをさぼったため、母親にこ

っぴどく叱られ、バツとして物置小屋に閉じこめられる。食糧として差し入れられたのはキュウリが数本のみ。無聊を慰めるテレーズの目に入ったのは一冊の秘本。それも生々しくすごいヤツ。眺めているうちしだいに息づかいが荒くなり、思わず傍のキュウリに手が伸びる。

〈第3話・女伯爵・バトリ〉1610年。ハンガリーのある地方。土地の領主、バトリ伯爵夫人は倒錯したセックスの嗜好者だった。まずレズビアンであり、サディストでありマゾヒストである。しばしば従者のイスファンを連れて自分の領地内をまわり、処女を駆け集めると己れの館に閉じこめる。やがて言語に絶する残酷な性の饗宴が始まる。乙女たちを裸にし全身に蜜をぬりたくり剣でさし殺し、その血の風呂につかり……。

その血の風呂につかり……。

〈第4話・ルクレチャ・ボルジア〉1498年。毒薬で有名なボルジア家の番外編。法王アレクサンデル六世はボルジア家の当主で、また法王として絶大な権力をふるっていた。しかし同時にまた比類なき好色漢でもあった。そのアレクサンデルがこの世に残したただ一つは近親相姦の楽しみであった。

宗教改革の嵐が吹きすさぶ中、教会で、彼の娘のルクレチャとその兄、チェザーレと3人で禁断の快楽にふけるのだった。



# インモラル物語

CONTES IMMORAUX カラー作品/日本ヘラルド映画

9月20日(土)よりロードショー 特別鑑賞券 800円 絶賛発売中!

丸の内東宝 (211) 6088 渋谷駅 渋谷宝塚 (461) 8779 池袋駅 池袋劇場 (971) 8361 錦糸町 江東リッツ (631) 3121 伊勢丹前 新宿ピレックスII (351) 3129 横浜スカラ座 045(641) 8531